

令和6年度

専攻科

シラバス

生産から流通・販売まで
アグリビジネスの実際を学ぶ

専門学校山梨県立農林大学校

〒408-0021

山梨県北杜市長坂町長坂上条3251

TEL 0551-32-2269

FAX 0551-32-2034

令和6年度専攻科シラバス 目次

専攻科1年

教 養	数学	1
生産技術	果樹栽培概論	2
	醸造用ブドウ栽培論(1)	3
	新品種特性	4
	地域先進技術(1)	5
	植物栄養生理	6
	植物増殖(1)	7
	植物生長調節	8
	病虫害防除(1)	9
	土壌肥料(1)	10
	環境保全型農業(1)	11
	農業施策	12
	農業法規(1)	13
	先端技術実習(1)	14
経営管理	農産物流通販売	15
	マーケティング	16
	法人経営論	17
アグリビジネスの実際	アグリビジネス論Ⅰ	18
	農業法人派遣研修	19
卒業研究	起業理念	20

専攻科2年

教 養	社会学	21
生産技術	果樹栽培各論Ⅰ	22
	果樹栽培各論Ⅱ	23
	果樹栽培各論Ⅲ	24
	醸造用ブドウ栽培論(2)	25
	地域先進技術(2)	26
	植物増殖(2)	27
	病虫害防除(2)	28
	土壌肥料(2)	29
	環境保全型農業(2)	30
	農業法規(2)	31
	先端技術実習(2)	32
経営管理	販売促進	33
	農業経営分析	34
アグリビジネスの実際	アグリビジネス論Ⅱ	35
	異業種派遣研修	36
卒業研究	ビジネスプラン	37

科目名	数学 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	加藤 肇 [元農業大学学校長、専門技術員資格 (普及方法・農村振興・花き)]		
ねらい	資格取得や就職に必要な基礎を学ぶ。				
到達目標	就職試験に必要なSPI問題と農協営農指導員資格試験対策(経営)について理解する。				

回数	授業計画
1	農業簿記① 複式簿記の原理・原則
2	農業簿記② 複式簿記の原理・原則 減価償却資産の計算式
3	農業簿記③ 減価償却資産の計算問題
4	農業簿記④ 減価償却資産の計算問題
5	農業簿記⑤ 勘定科目、仕分け練習問題
6	農業簿記⑥ 仕分け復習と練習問題
7	農業簿記⑦ 精算表の作り方
8	農業簿記⑧ 精算表の作り方練習問題
9	農業簿記⑨ 復習と練習問題
10	試験
11	政治について
12	経済の基礎
13	経済の基礎
14	国際情勢について
15	国際情勢について
16	表の読み取りについて、考え方、問題演習
17	集計表について、考え方、問題演習
18	組み合わせについて、考え方、問題演習
19	確率について、考え方、問題演習
20	復習と問題演習

評価方法・基準	試験、レポートにより評価する。
---------	-----------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	果樹栽培概論 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 1年	担当者	若林 喜久男 [元農業系高校校長]		
ねらい	落葉果樹栽培の専門的な技術を学ぶ。				
到達目標	本県で生産されているブドウ、モモを中心とした落葉果樹栽培に関する専門知識な知識を理解する。				

回数	授業計画
1	果樹の品種：育成過程、主要な品種の特長
2	山梨の果樹生産：ブドウ・モモ生産の特長
3	ブドウ・モモ生産（1） 苗木の植付け、生育
4	ブドウ・モモ生産（2） 結実、収穫・出荷、貯蔵
5	モモ生産（3） 秋季剪定の時期・方法手順、効果、日焼け対策
6	モモ生産（4） 秋季剪定の効果、日焼け対策
7	ブドウ栽培（1） 品種、黒系、赤系、白系品種の特長
8	ブドウ栽培（2） 品種の違いと栽培方法
9	果樹栽培適地（1） 果樹産地の育成
10	果樹栽培適地（2） 果樹産地の形成のコンセプト
11	果樹品種の作出（1） 新品種・主要品種の特長と栽培要点
12	果樹品種の作出（2） DNA品種判別法、育種へのDNAマーカーの利用
13	果樹の育苗（1） 苗木づくり、芽つぎの方法と活着のメカニズム
14	果樹の育苗（2） 台木に必要な特性、接ぎ木親和性
15	果樹の育苗（3） 台木の品種、特長、育成法
16	ブドウの整枝剪定（1） ブドウの枝の管理の基礎
17	ブドウの整枝剪定（2） 枝の特長、枝の育成
18	ブドウの整枝剪定（3） X型剪定、短梢剪定の原則
19	果樹の病害虫防除（1） モモせん孔細菌病
20	果樹の病害虫防除（2） 秋の病害虫防除
21	果樹園土壌の特長（1） 土壌分析と施肥
22	果樹園土壌の特長（2） 土壌構造と堆肥の効果、有機質肥料の種類と作用
23	果樹園土壌の特長（3） 施肥の効果、土壌の化学性について、果樹根群制限栽培
24	果樹園土壌の特長（4） 果樹の適正PH、土壌PHと繁茂する雑草、かん水と土づくり
25	モモの整枝剪定（1）
26	モモの整枝剪定（2）
27	今年の果樹病害虫の問題点と対策（発生状況）、近年問題となった病害虫
28	果樹園の有害鳥獣駆除の方法
29	果樹園の農業気象と病害虫の発生 果樹の遺伝子組み換えについて
30	試験

評価方法・基準	試験、レポート・発表等により評価する
---------	--------------------

テキスト・参考書	果樹栽培の基礎（農文協） 葡萄の郷から（山梨県果樹園芸会）
----------	----------------------------------

科目名	醸造用ブドウ栽培論 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	小牧 康伸 [シニアソムリエ、ワイナリー経営者] 古屋 栄 [元果樹試験場長(果樹・土壌・栄養生理)]		
ねらい	醸造用ブドウ栽培の基礎を学ぶ。				
到達目標	醸造用ブドウの品種特性と栽培技術について理解する。				

回数	授業計画
1	醸造用ブドウの基本的栽培(小淵沢 小牧農園)
2	醸造用ブドウの定植(小淵沢 小牧農園)
3	醸造用ブドウの収穫生育(小淵沢 小牧農園)
4	現地研修②(山梨大学ワイン科学研究センター 甲府市) ワインの醸造・品質に関する研究
5	現地研修①(韮崎市マルスワイン工場) 県内ワイナリーの醸造現場の見学
6	醸造ブドウの栽培土壌 世界のブドウ生産と流通
7	醸造ブドウの栽培土壌 世界のブドウ産地の気候条件と栽培種
8	現地視察③醸造用ブドウの歴史(甲州市)
9	醸造用ブドウの剪定(小牧農園)
10	醸造ブドウの栽培土壌 世界のブドウ品種の動向

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する
---------	-----------------

テキスト・参考書	プリント資料
----------	--------

科目名	新品種特性 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 1年	担当者	古屋 栄 [元果樹試験場長 (果樹・土壌・栄養生理)]		
ねらい	落葉果樹の育種や品種の特性など、栽培技術の基礎を学ぶ。				
到達目標	消費者と生産者のニーズに合わせた果樹の新品種育成の方法などについて理解する。				

回数	授業計画
1	ブドウ 主要品種の高品質・安定生産に向けた基本技術 (整枝せん定・生育調整剤の利用・適性樹相の考え方)
2	モモ 原産地と栽培品種の来歴 品種特性について
3	スモモ 栽培の現状と主要品種
4	その他果樹 主要品種の高品質・安定生産に向けた基本技術 (整枝せん定・生育調整剤の利用・適性樹相の考え方)
5	品種育成の手順と種苗法
6	細胞生物学 細胞内諸器官の働き DNA、RNA、倍数体、ゲノム
7	分子生物学的手法を用いた新しい育種法① PCR法、親子鑑定、茎頂培養法、ウイルスフリー化
8	分子生物学的手法を用いた新しい育種法② 三倍体育種、遺伝子組み換え技術、ゲノム編集
9	試験
10	試験問題の解説

評価方法・基準	試験により評価する。
---------	------------

テキスト・参考書	プリント資料
----------	--------

科目名	地域先進技術 事例研究	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	三宅 ひろみ 各農務事務所 普及指導員		
ねらい	山梨県内の各地域における果樹技術の普及・発展について学ぶ。				
到達目標	果樹生産における先進技術の導入事例や事業等を活用した産地の活性化事例を理解する。				

回数	授業計画
1	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について①（現地調査）
2	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について②（現地調査）
3	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について③（現地調査）
4	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について④（現地調査）
5	中北地域における果樹の先進技術導入事例について①（現地調査）
6	中北地域における果樹の先進技術導入事例について②（現地調査）
7	中北地域における果樹の先進技術導入事例について③（現地調査）
8	中北地域における果樹の先進技術導入事例について④（現地調査）
9	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について①（現地調査）
10	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について②（現地調査）
11	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について③（現地調査）
12	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について④（現地調査）
13	中北地域における果樹の先進技術導入事例について①（現地調査）
14	中北地域における果樹の先進技術導入事例について②（現地調査）
15	中北地域における果樹の先進技術導入事例について③（現地調査）
16	中北地域における果樹の先進技術導入事例について④（現地調査）
17	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について⑤（現地調査）
18	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について⑥（現地調査）
19	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について⑦（現地調査）
20	峡東地域における果樹の先進技術導入事例について⑧（現地調査）

評価方法・基準	レポートにより評価する。
---------	--------------

テキスト・参考書	プリント
----------	------

科目名	植物栄養生理 講義	単位数	2	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	深澤 眞悟 [元農業系高校校長]		
ねらい	植物生理の基本について学ぶ。				
到達目標	植物生理のしくみ、植物生育と産業との関わりについて理解する。				

回数	授業計画
1	<ul style="list-style-type: none"> 植物生理学とは 環境 光 水 温度
2	
3	<ul style="list-style-type: none"> 光合成と代謝
4	
5	<ul style="list-style-type: none"> 光合成と代謝 葉緑体 炭素固定 C₃植物 C₄植物 CAM植物
6	
7	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸とエネルギー利用 代謝、呼吸
8	
9	<ul style="list-style-type: none"> 発生と形態形成 植物の発生と成長
10	
11	<ul style="list-style-type: none"> 環境 植物の運動 信号の伝達 光形態形成
12	
13	<ul style="list-style-type: none"> 環境 水 温度 重力 生体制御
14	
15	<ul style="list-style-type: none"> 成長 水ポテンシャル 細胞壁の構造と細胞壁伸展
16	
17	<ul style="list-style-type: none"> 成長 植物ホルモン 開花
18	
19	<ul style="list-style-type: none"> 栄養 無機物質 窒素代謝
20	<ul style="list-style-type: none"> 栄養 無機物質 窒素代謝 試験

評価方法・基準	試験、レポート発表等により評価する。
---------	--------------------

テキスト・参考書	絵とき 植物生理学入門 (オーム社)
----------	--------------------

科目名	植物増殖 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	猪股 雅人 [元果樹試験場長 (果樹)]		
ねらい	植物の大量増殖に必要な培養技術を中心に、種苗生産に関する技術を学ぶ。				
到達目標	作物の大量増殖法および高品質果実生産のための苗木の繁殖法について理解する。				

回数	授業計画
1	植物バイオテク技術の体系
2	植物バイオテク技術の基本原理
3	植物の分化・再生の培養技術
4	受精・胚培養と雑種の獲得
5	植物ホルモンの種類と作用
6	変異の発現と活用
7	培地の組成と作成、無菌培地の基本、再生体の順化、育苗
8	植物のウイルス病、ブドウのウイルスフリー化とウイルスフリー苗作出・茎長培養
9	茎長培養による大量増殖法
10	果樹繁殖の基礎 (接木、挿し木法)
11	果樹繁殖の基礎 (株分け・取り木繁殖法)
12	果樹繁殖の基礎 (実生繁殖法)
13	ブドウの繁殖 (挿し木、接木育苗法)
14	ブドウの繁殖 (台木特性)
15	核果類の繁殖 (共通)
16	モモ、スモモ、オウトウ苗木の繁殖法
17	ナシ、リンゴ苗木の繁殖法
18	ウメ、カキ苗木の繁殖法
19	総括学習
20	テスト

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	果樹の接ぎ木・挿し木・取り木 (農文協)、関係資料配布
----------	-----------------------------

科目名	植物生長調節 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	古屋 栄 [元果樹試験場長 (果樹・土壌・栄養生理)]		
ねらい	果樹園に生える四季の雑草の種類と特徴と樹木の生長特徴を生理面から学ぶ。その後は文献購読により、科学技術書籍を読み解く能力を養成する。				
到達目標	果樹の生育に影響する雑草や樹体生理の知識を習得し、高付加価値のある果実の多収生産技術について理解する。				

回数	授業計画
1	春雑草の種類と特徴
2	樹木の知識 1 枝や幹の切り方
3	春季から夏季への遷移期の雑草
4	樹木の知識 2 木の植え方
5	夏雑草の種類と特徴
6	樹木の知識 3 木の傾きと年輪
7	秋雑草の種類と防除
8	樹木の知識 4 ひこばえの出る理由
9	文献購読 1
10	樹木の知識 5 木の移植の仕方
11	文献購読 2
12	樹木の知識 6 水を吸い上げる力
13	文献購読 3
14	樹木の知識 7 樹皮の観察
15	文献購読 4
16	樹木の知識 8 強剪定より間伐を
17	文献購読 5
18	樹木の知識 9 下枝の重要性
19	文献購読 6
20	試験

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	木を診る・木を知る (日本緑化センター)、プリント資料、「死んだふり」で生きのびる (岩波書店)
----------	--

科目名	病虫害防除 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	古屋 栄 [元果樹試験場長 (果樹・土壌・栄養生理)]		
ねらい	果樹生産に必要な病虫害防除の知識を身につけ、効率的な防除技術を習得する。				
到達目標	果樹の病虫害の生態と、被害の防止対策について理解する。				

回数	授業計画
1	ブドウの主要病害
2	ブドウの主要虫害
3	モモの主要病害
4	モモの主要虫害
5	スモモの主要病害
6	スモモの主要虫害
7	オウトウの主要病害
8	オウトウの主要虫害
9	試験
10	山梨県における「防除暦」作成の基本的考え方
11	病原の伝染形態と病害発生時期について 効果の高い適期防除法
12	殺菌剤の種類と適切な使用法
13	果樹の害虫の種類とその被害 りん翅目、双翅目、甲虫類など
14	果樹の害虫の生態とその防除 昆虫特有の生態に着目した防除法 IGR剤など
15	殺虫剤の種類と適切な使用法
16	さまざまな害虫防除法 生物的防除法等・耕種的防除法など
17	果樹病虫害防除に関する成果情報演習①
18	果樹病虫害防除に関する成果情報演習②
19	試験
20	試験問題の解説

評価方法・基準	試験により評価する。
---------	------------

テキスト・参考書	病虫害診断サポートシステム、農業の話（農文協）、プリント資料
----------	--------------------------------

科目名	土壌肥料 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	花形 敏男 [元総合農業技術センター副所長、 元専門技術員(土壌・作物)]		
ねらい	生産現場における土づくりや土壌改善に必要な技術を学ぶ。				
到達目標	果樹生産における効果的な土壌管理方法について理解する。				

回数	授業計画
1	作物生育と土壌環境
2	土壌診断の進め方
3	化学性分析用土壌サンプルの調整 粉碎・篩い掛け
4	土性、土色の判定
5	土壌の化学性の測定 pH、EC
6	
7	土壌の化学性分析 硝酸態窒素 (RQフレックスによる測定)
8	
9	土壌の化学性分析 塩基類 (石灰、苦土、カリ)
10	
11	土壌の化学性分析 有効態リン酸
12	
13	土壌診断書作成
14	土壌診断と施肥改善
15	土壌肥料に関する試験研究成果①
16	土壌肥料に関する試験研究成果②
17	土壌肥料に関する試験研究成果③
18	土壌肥料に関する試験研究成果④
19	試験
20	

評価方法・ 基準	試験、レポート等により評価する。
-------------	------------------

テキスト・ 参考書	土づくりと作物生産 (日本土壌協会)
--------------	--------------------

科目名	環境保全型農業 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 1年	担当者	清水 靖 [元農業大学校長、元専門技術員(花き)]		
ねらい	農業と環境との関わりについての基礎を学ぶ。				
到達目標	農業と大気環境、水質環境、土壌環境との関わり合いについて理解し、環境負荷低減技術を習得する。				

回数	授業計画
1	環境保全の定義について 環境問題の背景と課題 環境保全の取組について
2	地球温暖化の影響 <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果と温室効果ガスの発生について ・ 農業生産活動における環境問題 ・ 農業分野における気候変動への対応策
3	環境と調和のとれた農業生産活動規範について 持続可能な開発目標と日本の取り組み
4	環境保全型農業の施策の変遷 現状と課題 有機農業とは 環境保全型農業直接支払制度について
5	環境保全型農業の推進について 有機農産物、特別栽培農産物、甲斐のこだわり環境農産物について
6	山梨県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画 4パーミル・イニシアチブの取組 土づくりの重要性について
7	山梨県農政部で環境保全型農業に係る事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機農業の日本農林規格について ・ 減農薬(減化学肥料) 特別栽培農産物について ・ 持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律(エコファーマー)について
8	総合的病害虫、雑草管理(IPM)について 化学合成農薬使用回数の低減技術について
9	環境負荷低減技術の具体的な取組 農業生産工程管理(gap)について 農業用廃プラスチックの処理について
10	山梨県における環境保全型農業施策・事業について レポート作成

評価方法・基準	出席、理解度試験、レポート等により評価する。
---------	------------------------

テキスト・参考書	プリント
----------	------

科目名	農業施策 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 1年	担当者	若林 喜久男 [元農業系高校校長]		
ねらい	農業の現状と課題、農政の基本方向について学ぶ。				
到達目標	山梨の農業の現状と課題及び農業・農政の基本方向と国・県の施策などに理解する。				

回数	授業計画
1	<ul style="list-style-type: none"> ・食料・農業・農村白書より ・日本農業の現状
2	<ul style="list-style-type: none"> ・強い農業の創造 ・地域資源を活かした農村の振興・活性化
3	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな食料・農業・農村計画より ・基本計画における施策の方向
4	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧自給率目標 ・農業の持続的な発展
5	<ul style="list-style-type: none"> ・やまなし農業基本計画より ・本県の現状と課題
6	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の方向 ・担い手の育成。生産振興策等
7	<ul style="list-style-type: none"> ・峡東農務事務所の取り組み（見学） ・担い手育成支援、農地集積の取り組み
8	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み事例の見学
9	<ul style="list-style-type: none"> ・農業施策への提案 ・レポート作成
10	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による発表及び協議

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	農業法規 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 1年	担当者	望月 孝一 [元峡南農務事務所担い手対策幹、技術士(農業部門)、専門技術員資格(果樹、病害虫)]		
ねらい	農業に関する法律について理解し、農業経営において直面する課題の対応と対策について習得する。				
到達目標	農業に関する各種法律について理解する。				

回数	授業計画
1	農業経営基盤強化促進法① ・ 農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律 ・ 基盤法の概要
2	農業経営基盤強化促進法② ・ 基本要綱 (国) ・ 基本方針 (県) ・ 基本構想 (市町村)
3	農地中間管理事業 ・ 農地中間管理機構 ・ 遊休農地対策
4	農地中間管理機構を通じた農地貸借の手続き① ・ 農用地利用集積計画・農用地利用集積等等促進計画作成上の留意点 ・ Q & A
5	農地中間管理機構を通じた農地貸借の手続き② ・ 農用地利用集積計画・農用地利用集積等等促進計画作成上の留意点 ・ Q & A
6	農業振興地域の整備に関する法律の概要 ・ 農業振興地域の指定 ・ 農用地区域の設定および変更
7	農業協同組合法 ・ 農協法の基礎知識 ・ 事業の範囲 ・ 機関
8	農業経営を支える諸制度 ・ 農業融資 ・ セーフティネット対策 ・ 社会保険と年金
9	試験
10	試験

評価方法・基準	試験・レポート等で評価する。
---------	----------------

テキスト・参考書	プリント資料
----------	--------

科目名	先端技術実習 実習	単位数	13	時間	390
対象学生	専攻科 1年	担当者	果樹試験場 研究員		
ねらい	農業生産の現場で活用される先進的な栽培技術について学ぶ。				
到達目標	果樹試験場での実習を通し、試験場の各部・科で開発・実証された先進的な栽培技術を習得するとともに、プロジェクト課題を設定し、調査、取りまとめを行う。				

分野	授業内容
オリエンテーション	果樹試験場における実習の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・試験場各科の試験課題について ・学習内容の明確化と実習先研究室の選定 ・プロジェクト学習の進め方 ・報告書のまとめ方
実習	果樹試験場における実習の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・所属する研究室の試験研究課題の理解 ・果樹の生育ステージに応じた栽培技術 ・試験研究に必要な専門的な知識と技能 ・課題解決のための研究手法 ・プロジェクト課題の設定と進行 ・調査のタイミングと計画の進行管理方法 ・調査データの管理と処理方法
取りまとめ	研修報告の作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト課題の取りまとめ、発表 ・派遣先研究室の概要 ・学習内容 ・試験研究の現場や実習を通しての感想

評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	農産物流通販売 講義	単位数	2	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	清水 靖 [元農業大学校長、元専門技術員(花き)]		
ねらい	市場流通を中心とした流通の現状と今後の動向について、基礎的事項や最近の流通事項、変化を学習する。				
到達目標	TPP導入など世界市場がグローバル化する中、多様化する農産物の流通販売の実態や今後の流通のあり方・課題等を検討・研究検証する。				

回数	授業計画
1	①現代の食生活変化と農産物流通機構の変化 ②青果物流通システムの現状と課題
2	①青果物流通システム(市場流通と市場外流通と商品特性等) ②農産物の各種流通システムと形態と内容
3	①卸売市場の仕組みと機構、卸売市場の種類と規制する法律、中央卸売市場と地方卸売市場 ②卸売市場の流通経路と物流・卸売市場の機能<集荷、分荷、価格形成等>・卸売業者の定義と業務、扱い規模等
4	①卸売市場及び市場外流通の年次別取扱量推移 ②卸売市場の流通諸機能<商的流通機能・物流的機能・情報流通機能等>
5	①卸売市場を中心とした農産物基本ルートと最近の物流ルートの多様化 ②農産物流通の多様化と卸売市場流通の衰退原因 ③卸売市場における青果物の価格形成
6	①食品流通に求められるもの ②食品産業とSDGsのつながり
7	①価格形成の種類 ②卸売市場における取り引き等処理システム ③卸売市場における青果情報システム構築経過
8	①世界の食料事情について ②食品ロス、リサイクルをめぐる情勢
9	①日本農業の現状と農産物流通 ②農産物流通の現状と地産地消の動向 ③市場外流通の興隆と食品の安全性問題
10	①グローバル化する食品流通をめぐる諸問題
11	①農産物流通から見た「地産地消」の位置づけ②食料自給率について 日本の食生活食料需給と自給率
12	①地産地消の具体的事例 ②農産物直売所 ③産地直送
13	①6次産業化について②食品流通のしくみと働き
14	①地産地消と「安全・安心」 ②生産者－消費者の信頼性意識構築コミュニケーションツールとしてのトレーサビリティシステム ③トレーサビリティシステムの必要性
15	全農やまなし 直売施設の取組事例視察研修
16	視察研修内容のレポート作成
17	①米の流通について ②米トレーサビリティ法について ③食糧管理法と食糧法
18	①青果物の流通について ・果樹をめぐる情勢
19	①食品の品質と規格について ポジティブリスト制度 GAP制度 ②地域団体制度 地理的表示保護制度 ③コールドチェーン POSシステム
20	試験

評価方法・基準	レポート課題により評価
---------	-------------

テキスト・参考書	食品流通(実教出版株式会社)
----------	----------------

科目名	マーケティング 演習	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 1年	担当者	澤 伸恭 [大学特任教授、中小企業診断士]		
ねらい	農業経営に必要なマーケティングの基礎を学ぶ。				
到達目標	消費動向の把握とそれに基づく販売戦略のための分析の手法を理解する。				

回数	授業計画
1	法人の見学（清里ジャム）
2	法人の見学（山梨市 Cave An）
3	法人の見学（甲斐市 小林牧場）
4	県内の法人見学（南アルプス市 Soil）
5	法人の見学（山梨市フルーツ公園 アグベル）
6	マーケティングの基本講義
7	マーケティングの基本講義
8	県内の法人見学（清里ミルクプラント）
9	県内の法人見学（甲州市 ぶどう畑）
10	Mirai フォーラム発表会見学

評価方法・基準	レポート等により評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	ぐるっと！マーケティング（株式会社すばる舎リンクージ） 事例でわかる食と農のマーケティング入門（松田恭子@3520きんざい）
----------	---

科目名	法人経営論 講義	単位数	2	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	加藤 肇 [元農業大学学校長、専門技術員資格 (普及方法・農村振興・花き)]		
ねらい	農業生産法人の設立、経営に関する基礎を学ぶ。				
到達目標	農業生産法人の設立方法や運営方法、経営に必要な知識を理解する。				

回数	授業計画
1	Miraiプロジェクトキックオフの相談・確認
2	Miraiプロジェクトキックオフ参加
3	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
4	商品化の実際 palor北の杜
5	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
6	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
7	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
8	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
9	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
10	Miraiプロジェクト発表会

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	(Q & A) 農業法人化マニュアル (農業会議所)
----------	----------------------------

科目名	アグリビジネス論 I 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 1年	担当者	相川 勝六 [元専門技術員(経営)]		
ねらい	農業・食料ビジネスの世界的な動きを理解する。 事業計画書の作成方法を理解し、農業経営に応用する。				
到達目標	大きく変わりつつある農業・食料ビジネスの現状と新たな動きを理解し、日本農業の展開方向について学ぶ。 事業計画の作成方法を学び、自分の思い描く果樹経営モデルを作成する。				

回数	授業計画
1	1 食と農を変える八つのメガトレンド ・農業を取り巻くマクロエコノミクスの変化 ・農業の未来を変える技術革新 ・政策・規制の変化が農業に及ぼす影響 ・食習慣・食生活の変化 ・農業ビジネスをリードする上流プレイヤー ・世界に訪れる消費者ニーズの変化 ・代替品・代替手法の登場 ・新規参入プレイヤーの台頭
2	
3	
4	
5	2 日本の食と農の未来 ・日本農業に期待される新たな挑戦 ・日本農業のポテンシャルを最大に発揮するための方策
6	3. 事業計画書の作り方 ・アイデア・コンセプトの考え方 ・商品・サービスの具体化の方法 ・ビジネスモデルとマーケティング ・収支の仕組みと収益化 ・行動計画の作り方
7	
8	
9	
10	
11	4. 果樹経営モデルの作成 ・前提条件の設定、各自がモデルを考案 ・品目選択 ・資本装備と初期投資 ・損益計算、人員計画 ・資金・返済計画 ・キャッシュフローと資金繰り ・作成したモデルの発表・評価 ・作成したモデルの発表・評価
12	
13	
14	
15	

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	マッキンゼーが読み解く農と食の未来（日本経済新聞出版） マンガでわかる事業計画書の作り方（西東社）
----------	--

科目名	農業法人派遣研修 実習	単位数	9	時間	270
対象学生	専攻科 1年	担当者	農業法人		
ねらい	農業生産法人の運営に必要な知識を学ぶ。				
到達目標	農業生産法人において実習し、生産技術、流通、販売等の実際や経営管理手法などの概要を理解する。				
分野	授業内容				
オリエンテーション	派遣研修の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先の事前調査の方法 ・派遣研修で学びたい内容の明確化 ・報告書のまとめ方 				
現地研修	農業法人の経営現場の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・経営のコンセプト、法人化への契機、経営形態、経営内容の実際 ・栽培で実践している先端的な技術、生産方法 ・販売戦略、販売方法 ・生産計画、生産管理、労務管理等の経営管理の実際 				
結果取りまとめ	研修報告の作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先法人の概要 ・派遣先の経営内容 ・実習で学んだ内容 ・派遣先の法人経営について感じたこと 				
評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。				
テキスト・参考書					

科目名	起業理念 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 1年	担当者	入倉 利也 [情報システム支援会社社長]		
ねらい	起業する際に必要な基礎知識を学ぶ。				
到達目標	起業理念の考え方、事業計画の作成法など、経営者に必要な基礎知識を理解する。				

回数	授業計画
1	企業についての環境分析、SWOT分析
2	理念の考え方、ビジョンの設定
3	理念作成の為、自分自身をSWOT分析
4	ビジョン（将来目標）作成の基本戦略を考える
5	起業理念の作成について 理念の作り方①
6	起業理念の作成について 理念の作り方②
7	理念→事業コンセプト→ビジョン 事業計画の作成について①
8	理念→事業コンセプト→ビジョン 事業計画の作成について②
9	理念を元に事業計画の作成①
10	理念を元に事業計画の作成②
11	理念を元に事業計画の作成③
12	理念を元に事業計画の作成④
13	理念を元に販売戦略 事業計画書作成①
14	理念を元に販売戦略 事業計画書作成②
15	理念を元に販売戦略、事業計画書の作成①
16	理念を元に販売戦略、事業計画書の作成②
17	理念、販売戦略、事業計画書の発表準備①
18	理念、販売戦略、事業計画書の発表準備②
19	理念、販売戦略、事業計画書の発表①
20	理念、販売戦略、事業計画書の発表②

評価方法・ 基準	事業計画書、発表会の内容等により評価する。
-------------	-----------------------

テキスト・ 参考書	マンガでわかる事業計画書の作り方
--------------	------------------

科目名	社会学 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 2年	担当者	望月 孝一 [元峡南農務事務所担い手対策幹、技術士(農業部門)、専門技術員資格(果樹、病害虫)]		
ねらい	就職試験等に必要な一般常識について習得する。				
到達目標	政治・経済の基礎知識や時事問題等について理解する。				

回数	授業計画
1	一般常識① ・日本国憲法の基本的性格と日本の政治機構（日本国憲法、国会、内閣と行政） ・演習
2	一般常識② ・日本の政治機構（裁判所、地方自治、選挙） ・演習
3	一般常識③ ・現代の国際政治と経済（国際連合、家計、企業、市場経済） ・演習
4	一般常識④ ・現代の経済と日本経済（国民所得と経済成長、金融、財政、環境問題） ・演習
5	一般常識⑤ ・日本経済と国際経済（労働、社会保障制度、国際経済、国際情勢） ・演習
6	時事問題① ・政治・経済関係 ・演習
7	時事問題② ・国際関係 ・演習
8	時事問題③ ・国際関係 ・演習
9	時事問題④ ・社会・環境関係 ・演習
10	試験

評価方法・基準	試験、レポート等で評価する。
---------	----------------

テキスト・参考書	大人の教養 面白いほどわかる政治・経済（KADOKAWA出版）
----------	---------------------------------

科目名	果樹栽培各論Ⅰ 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人〔元果樹試験場長（果樹）〕		
ねらい	ブドウの高品質果実生産に必要な専門的な知識を習得する。				
到達目標	高品質なブドウを安定生産するための品種ごとの専門知識を学ぶとともに、省力化・低コスト栽培など近年開発された先進技術を理解する。				

回数	授業計画
1	栽培の現状と考え方
2	生育の特性と主要作業（年間の生育と作業ポイント）
3	品種（台木）の分類と特性
4	苗の増殖法
5	栽培管理の実際 開園に向けて
6	仕立て方法
7	剪定方法
8	休眠期から発芽期の管理
9	開花結実期の管理
10	果粒肥大期の管理
11	収穫期の管理
12	収穫と出荷
13	病虫害防除
14	農薬の適正利用と飛散防止対策
15	施肥と土づくり
16	灌水
17	施設栽培（加温ハウス）
18	施設栽培（無加温・雨よけ等）
19	品種別管理のポイント（生食用）
20	品種別管理のポイント（醸造用）
21	植物生長調節剤の効果
22	植物生長調節剤の使用法
23	気象災害
24	災害の対策
25	生育・生理障害と対策（欠乏症と過剰症）
26	（生理障害）
27	鳥獣害対策
28	栽培の優良事例
29	総括学習
30	テスト

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	葡萄の郷から～おいしいブドウのできるまで～（山梨県果樹園芸会）
----------	---------------------------------

科目名	果樹栽培各論Ⅱ 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 [元果樹試験場長 (果樹)]		
ねらい	モモの高品質果実生産に必要な専門的な知識を学ぶ。				
到達目標	高品質なモモを生産するための品種ごとの専門知識を学ぶとともに、省力化・低コスト栽培など近年開発された先進技術を理解する。				

回数	授業計画
1	栽培の歴史と現状
2	生育の特性と主要作業 (年間の生育と作業ポイント)
3	品種 (台木) の分類と特性
4	苗の増殖法
5	栽培管理の実際 開園に向けての留意点
6	栽培管理の実際 仕立て方法 (開心自然形、主幹形、棚、Y字他)
7	栽培管理の実際 剪定方法 (樹相診断)
8	栽培管理の実際 休眠期から発芽期の管理
9	栽培管理の実際 開花結実期の管理
10	栽培管理の実際 果粒肥大期の管理
11	栽培管理の実際 収穫期の管理
12	栽培管理の実際 収穫と出荷
13	栽培管理の実際 病虫害防除
14	栽培管理の実際 農薬の適正利用と飛散防止対策
15	栽培管理の実際 施肥と土作り
16	栽培管理の実際 灌水
17	施設栽培 (加温ハウス)
18	(平棚、Y字等)
19	品種別の管理ポイント (早生種、中性種、晩生種)
20	(ネクタリン)
21	果実袋の種類と使用法
22	反射マルチの種類と使用法
23	気象災害
24	災害の対策
25	生育・生理障害と対策 (欠乏症と過剰症)
26	(生理障害)
27	鳥獣害対策
28	栽培の優良事例
29	総括学習
30	テスト

評価方法・基準	試験・レポート、発表等により評価する。
---------	---------------------

テキスト・参考書	桃の郷から (山梨県果樹園芸会)
----------	------------------

科目名	果樹栽培各論Ⅲ 講義	単位数	3	時間	45
対象学生	専攻科 2年	担当者	深澤 眞悟 [元農業系高校校長]		
ねらい	スモモ、オウトウなどの高品質果実生産に必要な専門的な知識を学ぶ。				
到達目標	スモモとオウトウなどの高品質生産と省力化・低コスト栽培などについて学ぶ。現状と諸課題について理解する。				
回数	授業計画				
1	スモモの来歴と特性 自然条件基準				
2	スモモ産地視察 南アルプス市 樹相診断				
3	スモモ生産概況				
4	スモモの安定生産 生産地環境 自家不和合性 S遺伝子型 品種特性 受精 受粉作業 栄養 おもな病害虫と防除				
5	スモモ産地視察 南アルプス市 樹相診断				
6	スモモの作業を理解する 3～4月 スモモとオウトウの花粉確保と人工授粉				
7	スモモの作業を理解する 5～6月				
8	スモモ産地視察 南アルプス市 樹相診断				
9	スモモの作業を理解する 7～9月				
10	スモモの作業を理解する 9～11月				
11	スモモの作業を理解する 12～2月 スモモ・オウトウの苗木の育成方法				
12	オウトウの来歴と特性 自然条件基準				
13	オウトウ作業を理解する 品種 自家不和合性 S遺伝子型 品種特性				
14	オウトウの仕立て方法 おもな病害虫と防除				
15	総括学習 試験				
評価方法・基準	出席、試験、レポート等により評価する。				
テキスト・参考書	おいしいオウトウ栽培（農文協），スモモ栽培利用加工（創造社）				

科目名	醸造用ブドウ栽培論(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 [元果樹試験場長(果樹)]		
ねらい	醸造用ブドウ栽培の基礎を習得する。				
到達目標	醸造用ブドウの品種特性と栽培技術について理解する。				

回数	授業計画
1	栽培の現状と考え方
2	生育の特性と主要作業(年間の生育と作業ポイント)
3	品種(台木)の分類と特性
4	栽培管理の実際 開園に向けて
5	仕立て方法(垣根・平棚)
6	剪定方法(垣根・平棚)
7	休眠期から発芽期の管理
8	開花結実期の管理
9	果粒肥大期の管理
10	収穫期の管理
11	収穫と出荷
12	病虫害防除
13	施肥と土づくり・灌水
14	品種別の管理のポイント
15	植物生育調整剤の効果と使用方法
16	気象災害と対策
17	生理障害と対策(欠乏症と過剰症)
18	栽培事例
19	総括学習
20	テスト

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する
---------	-----------------

テキスト・参考書	醸造用ブドウ栽培指針 醸造用ぶどう技術情報交換会
----------	--------------------------

科目名	地域先進技術(2) 事例研究	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 2年	担当者	三宅 ひろみ、耕地課職員		
ねらい	県内各地域における産地化の取り組み等に関する知識を習得する。				
到達目標	各種の事業を導入した先進技術の導入事例や産地化の事例から、その手法について理解する。				

回数	授業計画
1	農村地域の総合開発事業①（現地調査と討議）
2	農村地域の総合開発事業②（現地調査と討議）
3	農村地域の総合開発事業③（現地調査と討議）
4	農村地域の総合開発事業④（現地調査と討議）
5	農村地域の総合開発事業⑤（現地調査と討議）
6	農村地域の総合開発事業⑥（現地調査と討議）
7	農村地域の総合開発事業⑦（現地調査と討議）
8	農村地域の総合開発事業⑧（現地調査と討議）
9	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み①（現地調査と討議）
10	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み②（現地調査と討議）
11	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み③（現地調査と討議）
12	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み④（現地調査と討議）
13	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み⑤（現地調査と討議）
14	畑地かんがい事業等用水の確保の取り組み⑥（現地調査と討議）
15	農業集落排水事業①（現地調査と討議）
16	農業集落排水事業②（現地調査と討議）
17	農業集落排水事業③（現地調査と討議）
18	農業集落排水事業④（現地調査と討議）
19	農業集落排水事業⑤（現地調査と討議）
20	農業集落排水事業⑥（現地調査と討議）
21	果樹園の基盤整備の事例①（現地調査と討議）
22	果樹園の基盤整備の事例②（現地調査と討議）
23	果樹園の基盤整備の事例③（現地調査と討議）
24	果樹園の基盤整備の事例④（現地調査と討議）
25	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法①（現地調査と討議）
26	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法②（現地調査と討議）
27	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法③（現地調査と討議）
28	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法④（現地調査と討議）
29	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑤（現地調査と討議）
30	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑥（現地調査と討議）
31	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑦（現地調査と討議）
32	環境保全に配慮した新しい病害虫防除法⑧（現地調査と討議）
33	農協営農指導活動①（現地調査と討議）
34	農協営農指導活動②（現地調査と討議）
35	農協営農指導活動③（現地調査と討議）
36	農協営農指導活動④（現地調査と討議）
37	農産物流通加工の新しい取り組み①（現地調査と討議）
38	農産物流通加工の新しい取り組み②（現地調査と討議）
39	農産物流通加工の新しい取り組み③（現地調査と討議）
40	農産物流通加工の新しい取り組み④（現地調査と討議）

評価方法・基準	レポートにより評価する。
---------	--------------

テキスト・参考書	プリント
----------	------

科目名	植物増殖(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	猪股 雅人 [元果樹試験場長(果樹)]		
ねらい	生物工学的手法を活用した果樹の苗木に関する知識を学ぶ。				
到達目標	高品質果実の安定生産のための苗木生産について理解する。				

回数	授業計画
1	苗木育成の基礎知識 接木法
2	挿し木法
3	株分け法、取り木法、盛り土法
4	高接ぎ法
5	実生法
6	苗木繁殖とホルモン物質
7	ブドウ苗木の繁殖法 (挿し木・接木)
8	ブドウの台木特性
9	核果類の繁殖法 (共通)
10	モモ、スモモ苗木の繁殖法
11	オウトウ苗木の繁殖法
12	ウメ、アンズ苗木の繁殖法
13	ナシ(和、洋)苗木の繁殖法
14	カキ苗木の繁殖法
15	リンゴ苗木の繁殖法
16	中間台木を利用した低樹高栽培
17	カンキツ苗木の繁殖法
18	熱帯果樹の繁殖法
19	総括学習
20	テスト

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	果樹の接ぎ木・挿し木・とり木(農文協) 資料配付
----------	--------------------------

科目名	病虫害防除(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	古屋 栄 [元果樹試験場長 (果樹・土壌・栄養生理)]		
ねらい	自然生態系や環境に対応した安全な防除方法を学ぶとともに、県内で問題となった病虫害に対する地域の取り組み事例を学ぶ。				
到達目標	環境保全やポジティブリスト制度への対応を基本とし、県内で問題となっている病虫害に対する、地域の取り組み事例に学び、JA営農指導員資格試験（防除）対策を行う				

回数	授業計画
1	最近の病虫害発生状況と防除の実態 防除の考え方と手段(病虫害発生の三要素)、環境条件・樹体・病虫害の制御
2	上手な薬剤の選び方、剤型の特徴 薬剤散布のタイミング
3	農薬を使用する際に必要な環境への配慮 農薬残留
4	農薬散布と精度・果実品質との関係、薬剤耐性菌・抵抗性病虫害対策 降雨と病虫害防除のポイント、ブドウべと病の発生状況と防除の問題点
5	農薬取締法の詳細、農薬散布時の順守事項
6	防除の効果を上げるには ①展着剤の種類と使用法 ②動噴とSSの効果的活用、噴口の種類と防除効果
7	ポジティブリスト制度の内容とその対応 ポジティブリスト制度に対応する技術対策、飛散防止対策、農薬の選び方、農薬依存からの脱却
8	果樹防除暦の上手な使い方 病虫害発生予察について
9	化学合成農薬以外の防除法 交信攪乱剤、生物農薬・天敵農薬・微生物農薬、果実袋
10	試験
11	JA営農指導員資格試験（防除）対策
12	JA営農指導員資格試験（防除）対策
13	JA営農指導員資格試験（防除）対策
14	JA営農指導員資格試験（防除）対策
15	JA営農指導員資格試験（防除）対策
16	JA営農指導員資格試験（防除）対策
17	JA営農指導員資格試験（防除）対策
18	JA営農指導員資格試験（防除）対策
19	JA営農指導員資格試験（防除）対策
20	試験

評価方法・基準	試験により評価する。
---------	------------

テキスト・参考書	プリント資料
----------	--------

科目名	土壌肥料(2) 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	渡辺 実 [元研究員(土壌肥料)]		
ねらい	①ブドウ・モモを中心とした果樹園の土づくり対策・肥培管理対策等について習得する。 ②JA営農指導員資格取得に向け、過去(H29～R5)の試験問題の演習。				
到達目標	①果樹の養分吸収特性を加味した、効率的耕土養対策や土壌分析に基づいた、適正な施肥管理対策・水管理対策技術を習得する。 ②最近のJA営農指導員施肥試験問題演習により、同資格の取得を目指す。				

回数	授業計画
1	①本邦果樹園の栽培面積推移と土壌の種類別変化 ②果樹園土壌の成園化過程と土壌理化学性変化
2	平成28年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
3	①土壌の構造と土壌水分特性・果樹園の水管理法 ②土壌構造(孔隙特性)と土壌微生物(微生物の居住空間づくり土壌孔隙特性による土壌微生物の棲み分け)
4	平成29年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
5	①果樹園土壌の種類と土壌生産力変化(有効土層深変化・土壌硬度変化と果樹の根伸長変化) ②土壌の種類(理化学特性)と樹勢適応性
6	平成30年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
7	①果樹園の土づくりと土壌の種類別土壌改良基準 ②土壌の物理性改良基準目標とその意味 ③土壌の化学性改良目標と最近の土壌診断値の現状と問題点
8	令和元年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
9	①土壌診断とバランスのとれた土づくり(土壌診断結果の読み方と効率的土壌改良対策) ②土壌診断結果の深読み方法
10	令和2年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
11	①肥料(化学・有機肥料)の概要と分類(肥料取締法) ②各種肥料の特性と定義 ③土壌改良材と化学肥料について
12	令和2年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
13	①果樹の施肥と養分吸収の基準(作物養分と養分吸収機作、養分吸収量と吸収時期、施肥量と施肥時期等:岡山大学岡本レポートから)
14	令和3年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
15	①樹園地水管理と土壌中の水分特性 ②果樹の水分生理特性と効率的かん水方法 ③かん水の効果とかん水量 ④水分ストレスと果樹の品質等
16	令和4年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
17	①ブドウ・モモ養分吸収特性・養分吸収量と施肥量・施肥時期 ②なぜ果樹栽培では「お礼肥」や「元肥」を収穫後から秋期にかけてするのか?
18	令和5年度営農指導員試験(施肥)問題演習と解説
19	①果樹園の土づくり総括(・耕耘と有機物施用・施肥管理方法・水管理方法等)
20	JA営農指導員試験問題解説総括

評価方法・基準	レポートにより成果評価
---------	-------------

テキスト・参考書	よくわかる土と肥料のハンドブック(土壌改良編、肥料施肥編*農文協)・JA営農指導員テキスト:営農指導技術(施肥)JA全国農業協同組合中央会
----------	---

科目名	環境保全型農業(2) 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 2年	担当者	清水 靖 [元農業大学校長、元専門技術員(花き)]		
ねらい	環境にやさしい環境保全型農業の導入に必要な知識を学ぶ。				
到達目標	持続的農業や代替農業、有機農業の考え方を理解する。				

回数	授業計画
1	日本における環境保全型農業のとらえ方 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の現状と課題 ・農林水産分野における地球温暖化に対する取組 ・環境保全の定義
2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減に向けた取組 ・農業生産活動による環境負荷について
3	地球温暖化対策における農林分野の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出削減対策 ・温室効果ガスの吸収源対策
4	環境と調和のとれた農業生産活動規範について SDGsと農業分野で取り組むべき事例
5	新政策における環境保全型農業の位置づけ 環境保全型農業の施策・制度の変遷
6	有機農業について <ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物、特別栽培農産物、甲斐のこだわり環境農産物とは 環境保全型農業直接支払い制度について
7	総合的病害虫、雑草管理(IPM)実践指針について <ul style="list-style-type: none"> ・IPMの目的と基本的な実践方法
8	化学合成農薬使用回数低減技術 生物的防除方法等について
9	山梨県における環境保全型農業施策 環境問題とは何か 土づくりの重要性について
10	GAPに向けた生産者の取組 農業用廃プラスチック類の処理について レポート作成

評価方法・基準	出席・理解度テスト、レポートの作成・提出で評価する
---------	---------------------------

テキスト・参考書	プリント
----------	------

科目名	農業法規(2) 講義	単位数	1	時間	15
対象学生	専攻科 2年	担当者	古屋 栄 [元果樹試験場長 (果樹・土壌・栄養生理)]		
ねらい	農地法と生活に関わる税金についての知識を習得する。				
到達目標	現代農業の高度化と多様化に対応するため、農地法と生活に関わる税金について理解する。				

回数	授業計画
1	農地法について① ・ 売買関係
2	農地法について② ・ 転用関係
3	農地法について③ ・ 転用関係
4	農地法について④ ・ 貸借関係
5	農地法について⑤ ・ 貸借関係
6	農地法について⑥ ・ 相続・贈与関係
7	生活に関わる税金 (所得税、社会保険税、住民税) ① ・ 登記関係
8	生活に関わる税金 (所得税、社会保険税、住民税) ② ・ 登記関係
9	試験
10	試験問題の解説

評価方法・基準	試験により評価する。
---------	------------

テキスト・参考書	農業委員会研修テキスト② 農地法 (全国農業会議所)、プリント資料
----------	-----------------------------------

科目名	先端技術実習(2) 実習	単位数	11	時間	330
対象学生	専攻科 2年	担当者	果樹試験場研究員		
ねらい	農業生産の現場で活用される先進的な栽培技術や技術開発への取り組みについて学ぶ。				
到達目標	果樹試験場での実習を通し、試験場の各部・科で開発・実証された先進的な栽培技術を習得するとともに、プロジェクト課題を設定し、調査、取りまとめを行う。				

分野	授業内容
オリエンテーション	果樹試験場における2年目の実習の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・各研究室の今年度の試験研究内容の確認 ・所属している研究室に係わる課題の抽出 ・抽出した課題に沿って学習する内容を確認 ・1年次に実施したプロジェクト研究のフォロー学習の進め方
実習	果樹試験場における実習の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・生育ステージに応じた栽培技術 ・試験研究に係る専門知識と課題解決手法 ・課題の設定、試験設計の立て方 ・調査の仕方とタイミング ・試験計画の進行管理 ・調査データの管理と処理方法
取りまとめ	研修報告の作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・各自の実習内容の整理 ・成果レポートの作成 ・成果発表会(12/2)における発表 ・卒業論文集に収録する卒論整理

評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	販売促進(2) 演習	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 2年	担当者	澤 伸恭 [大学特任教授、中小企業診断士]		
ねらい	高収益農業の実現に向けた、流通の基礎知識と販売戦略の作成方法について学ぶ。				
到達目標	商品開発や販売促進のための取り組みについて、授業と流通現場の視察をとおして理解する。				

回数	授業計画
1	Miraiプロジェクトの紹介、クラウドファンディングについて
2	Miraiプロジェクト参加の企業の動画確認し、参加希望確認
3	Miraiプロジェクトの相談（企業とのマッチング）
4	企業とのマッチング
5	法人見学後の課題の洗い出しと解決策の検討
6	Miraiプロジェクトキックオフの相談・確認
7	Miraiプロジェクトキックオフ参加
8	クラウドファンディングの説明
9	クラウドファンディングのページづくり・事業計画
10	クラウドファンディングのページづくり
11	クラウドファンディングのページづくり・審査
12	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
13	クラウドファンディング、Miraiプロジェクトの振り返り
14	クラウドファンディング、Miraiプロジェクトの中間発表
15	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討 Miraiプロジェクト、クラウドファンディング
16	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
17	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
18	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
19	法人見学後の課題の洗い出し。解決策の検討
20	Miraiプロジェクト発表会参加

評価方法・基準	レポート等により評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	手に取るように小売・流通がわかる本（株式会社かんき出版） マーケティング見るだけノート（宝島社）
----------	---

科目名	農業経営分析 演習	単位数	1	時間	30
対象学生	専攻科 2年	担当者	相川 勝六 [元専門技術員(経営)]		
ねらい	経営分析の手法と財務諸表を経営的に捉える見方を学ぶ。				
到達目標	高収益農業の実現に向けて必要な、経営分析の方法について理解する。				

回数	授業計画
1	決算書とはなにか
2	貸借対照表の見方
3	損益計算書の見方
4	キャッシュフロー計算書の見方1
5	キャッシュフロー計算書の見方2
6	決算書を読んでもみる
7	経営分析の基礎
8	収益性分析
9	生産性分析
10	安全性分析
11	成長力分析
12	損益分岐点分析
13	実企業のビジネスモデルの違いを見抜く1 貸借対照表編
14	''
15	実企業のビジネスモデルの違いを見抜く2 損益計算書編
16	''
17	実企業のビジネスモデルの違いを見抜く3 キャッシュフロー計算書編
18	''
19	実企業のビジネスモデルの違いを見抜く4 B/S、P/Lの複合問題編
20	''

評価方法・基準	試験、レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	決算書はここだけ読もう(年次版)(株式会社弘文堂) 世界一楽しい決算書の読み方(KADOKAWA)
----------	--

科目名	アグリビジネス論Ⅱ 演習	単位数	2	時間	60
対象学生	専攻科 2年	担当者	加藤 肇 [元農業大学校長、専門技術員資格 (普及方法・農村振興・花き)]		
ねらい	経営感覚をもった将来の担い手となるために必要な知識を学ぶ。				
到達目標	農業生産を基幹としつつ、加工、流通、販売、農村環境を活用した事業などにより、新たなビジネスを展開していく手法について理解する。				

回数	授業計画
1	6次産業化に向けた事例調査（北杜市）
2	商品の検討（パーラー北の杜）①
3	商品の検討（パーラー北の杜）②
4	6次産業化に向けた事例調査（峡東）
5	商品の検討（パーラー北の杜）③
6	商品の検討（パーラー北の杜）④
7	販売促進に向けた事例調査（甲斐市）
8	ビジネスモデルとマーケティング 販売戦略は「4つのP」で考える” Product、Price”
9	ビジネスモデルとマーケティング 販売戦略は「4つのP」で考える” Place”
10	商品の検討（パーラー北の杜）⑤
11	6次産業化に向けた事例調査
12	ビジネスモデルとマーケティング 販売戦略は「4つのP」で考える” Promotion”
13	6次産業化に向けた事例調査（峡西地域）
14	商品の検討（パーラー北の杜）⑥
15	商品の検討（パーラー北の杜）⑦
16	商品の検討（パーラー北の杜）⑧
17	商品の検討（パーラー北の杜）⑨
18	6次産業化に向けた事例調査（峡北地域）
19	6次産業化に向けた事例調査（峡東地域）
20	まとめ

評価方法・基準	試験・レポート等により評価する。
---------	------------------

テキスト・参考書	マンガでわかる事業計画書の作り方（西東社） ビジネスモデルの教本（インプレス）
----------	--

科目名	異業種派遣研修 演習	単位数	6	時間	180
対象学生	専攻科 2年	担当者	流通業者、農業法人等		
ねらい	アグリビジネスの展開に必要な生産計画・販売戦略など、経営管理手法の基礎知識や顧客対応などを学ぶ。				
到達目標	アグリビジネスを実践するには、農業生産以外の幅広い知識と広い視野が不可欠なため、他産業における生産・販売管理などについて、実習を通して理解する。				

分野	授業内容
オリエンテーション	派遣研修の実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先の事前調査の方法 ・派遣研修で学びたい内容の明確化 ・報告書のまとめ方
現地研修	実習先の経営現場の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・研修先の経営理念、経営形態・経営内容、特徴等 ・販売方法、販売戦略等の実際 ・労務管理・物品管理等、経営的な管理の方法 ・ビジネスプランの作成に参考となる資料の収集
取りまとめ	研修報告作成の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先の概要 ・派遣先の経営内容、特徴的な取り組み内容 ・実習で学んだ内容 ・派遣先の法人経営について感じたこと

評価方法・基準	研修報告を基準に評価する。
---------	---------------

テキスト・参考書	
----------	--

科目名	ビジネスプラン 演習	単位数	6	時間	180
対象学生	専攻科 2年	担当者	横内 正史 [元農業大学校長・元専門技術員(普及方法)] 玉川 真奈美 [栄養士・フードコーディネーター] 加藤 肇 [元農業大学校長、専門技術員資格(普及方法・農村振興・花)]		
ねらい	生産法人をモデルとし、生産から流通、販売までを一体的にとらえたアグリビジネスプランの作成方法を学ぶ。				
到達目標	農業生産法人等をモデルとして、その法人における生産上、または経営上問題となっている課題を抽出し、これらを改善するための計画の作成方法を理解する。				

分野	授業内容
課題抽出と計画作成	ビジネスプランのテーマ設定 ・ 農業生産法人派遣研修と異業種派遣研修からの課題の発掘 ・ 課題解決のために必要な調査、結果の分析方法 ・ テーマと実施計画の策定)
調査研究の実施	対象法人等への調査の実施 ・ 課題解決に向けての資料収集 ・ モデルとする法人を対象とした調査 ・ 収集した資料、調査結果のまとめと検討 ・ 調査内容に関するグループ討議
まとめ、論文作成	ビジネスプラン作成の実際 ・ 調査データの集計 ・ 結果と考察のまとめ方の実際 ・ プレゼンテーションソフトを使った発表用資料の作成と発表 ・ 卒業論文の作成

評価方法・基準	卒業論文で評価する。
---------	------------

テキスト・参考書	マンガでわかる事業計画書の作り方 (西東社) ビジネスモデルの教本 (インプレス)
----------	--